

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和5年5月31日

施設名	港区立障害者支援ホーム南麻布	施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課
所在地	港区南麻布4-6-13	指定管理者	社会福祉法人 健誠会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
<p>【生活介護・施設入所支援】 【短期入所】 一人ひとりが「その人らしく」過ごせるよう日中活動の改善・充実を図ることが望まれる。</p>	-	<p>・障害特性に合わせ、グループ分けを行い、興味のあるもの、出来ること、楽しめるものを増やしていけるよう日中活動委員会を中心に方針を決める協議を行った。</p>	<p>・グループに分けた活動の取組みを継続する。 ・新たに音楽療法やアートセラピー等の外部講師による目標を設定した活動を導入する。 ・外出等、社会交流の機会を増やしていく。 ・港区内他事業所職員と交互に施設見学を行い、活動の幅を広げるよう意見交換を行う。</p>	<p>・グループ化は可能なところから実施し、利用者にとってより有効な活動となるよう期待する。 ・音楽療法は令和5年3月から実施できていることを現場にて確認している。アートセラピーについても6月から実施予定である。 ・外出については、区も進捗管理を行い、全ての利用者が平等に外出の機会を持てるよう確認していく。 ・区内他事業所との見学は区がとりまとめ、円滑な交流を図る工夫を行っている。</p>
<p>【生活介護・施設入所支援】 【短期入所】 ユニット間での共通の業務の統一化を図るとともに、個別の支援を充実するための幅広い情報の共有や蓄積を進める仕組み作りが期待される。</p>	-	<p>・少人数単位のユニット毎にカンファレンス（会議）を開き、入所者について情報の共有と支援の方向性の統一を図った。</p>	<p>・入所者一人ひとりの特性により着目したカンファレンス（会議）を開催し、疾患や病態生理をはじめとする支援に必要な情報を集約して、共有する。それらを元に、統一した支援ができるよう計画を実施する。</p>	<p>・入所者ごとのカンファレンスを開始したことを確認した。 ・今年度、他施設の見識のある医師や看護師にも研修を依頼していることから、どのような着眼点をもってカンファレンスを実施し日常の支援に活かしていくべきか、入所者に対する個別のアドバイスを取得することも期待している。</p>
<p>【生活介護・施設入所支援】 利用者代表者会議の設置等の取り組みが期待される。</p>	-	<p>・毎月、定例会議として設置するとともに、出席する入所者を入れ替え制とし、施設長・副施設長・区障害者福祉課職員が中心となり、広く意見や要望を聞き改善に取り組んだ。</p>	<p>・左記の継続に加え、定例会議の前に各入所者から意見の細かな聞き取りや傾聴を行うことで会議の質を高める。</p>	<p>・入所者と職員と区が連携してよりよい施設を作り上げていけるよう、直接意見を交わす場を持つことを大切にしている。 ・区も毎回出席し、利用者代表者会議が効果的に運営されていることを確認している。また、入所者からの要望に対する施設の対応結果については、理由も含めてより丁寧に説明することを期待している。</p>